



CHAPTER 9

Cisco Unified Presence の管理ページでの TLS ピア サブジェクトの設定

- 「[TLS ピア サブジェクトの設定](#)」 (P.9-1)
- 「[TLS ピア サブジェクトの検索](#)」 (P.9-2)
- 「[TLS ピア サブジェクトの削除](#)」 (P.9-3)

TLS ピア サブジェクトの設定

TLS ピア サブジェクト設定では、単一の TLS コンテキストに関連付けることができるピア サブジェクトを作成および変更できます。Cisco Unified Presence で使用される TLS ピア サブジェクト名を設定できます。

始める前に

使用しているネットワークに合わせて TLS コンテキストを設定します。

手順

ステップ 1 次のいずれかの操作を実行します。

操作の目的	操作
TLS ピア サブジェクトを追加する	<ol style="list-style-type: none">[システム (System)] > [セキュリティ (Security)] > [TLS ピア サブジェクト (TLS Peer Subjects)] の順に選択します。[新規追加 (Add New)] をクリックします。
TLS ピア サブジェクトの更新	<ol style="list-style-type: none">「TLS ピア サブジェクトの検索」 (P.9-2) の説明に従ってレコードを検索します。必要に応じてレコードを編集します。

ステップ 2 表 9-1 の説明に従って TLS ピア サブジェクトの設定値を入力します。

表 9-1 TLS ピア サブジェクトの設定値

フィールド	説明
ピア サブジェクト名 (Peer Subject Name)	TLS ピア サブジェクトに一意の名前を指定します。 最大文字数：128
説明 (Description)	TLS ピア サブジェクトの説明を指定します。 最大文字数：128

ステップ 3 データを保存するには、次のいずれかの操作を実行します。

- a. ウィンドウの左上隅にあるツールバーに表示されている [保存 (Save)] アイコンをクリックします。
- b. ウィンドウの下部にある [保存 (Save)] をクリックします。

トラブルシューティングのヒント

- TLS ピア サブジェクトに対する変更を有効にするには、SIP プロキシ サーバを再起動する必要があります。このプロキシ サーバを再起動するには、[プレゼンス (Presence)] > [ルーティング (Routing)] > [設定 (Settings)] の順に選択します。
- また、システム ダッシュボードを使用すると、Cisco Unified Presence でクラスタ間ピアのステータスを表示することもできます。[診断 (Diagnostics)] > [システム ダッシュボード (System Dashboard)] の順に選択します。

関連項目

- 「Cisco Unified Presence の管理ページでの SIP プロキシ サーバの設定」 (P.16-1)
- 第 8 章「Cisco Unified Presence の管理ページでの TLS コンテキストの設定」

TLS ピア サブジェクトの検索

1 つまたは複数の TLS ピア サブジェクトを 1 つの TLS コンテキストにマッピングできます。ネットワークに複数の TLS ピア サブジェクトが存在する場合があるため、Cisco Unified Presence では、具体的な検索条件に基づいて特定の TLS ピア サブジェクトを検索できます。

手順

- ステップ 1** [システム (System)] > [セキュリティ (Security)] > [TLS ピア サブジェクト (TLS Peer Subjects)] の順に選択します。
- ステップ 2** データベースのすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認して、**ステップ 4**に進みます。
- ステップ 3** レコードをフィルタリングまたは検索するには、次のいずれかの操作を実行します。
 - 最初のリスト ボックスから検索パラメータを選択します。
 - 2 番目のリスト ボックスから検索パターンを選択します。
 - 必要に応じて適切な検索テキストを指定します。
- ステップ 4** [検索 (Find)] をクリックします。

ステップ 5 表示されるレコードのリストから、次の 1 つまたは複数の操作を実行します。

操作の目的	操作
レコードを表示する	該当するレコードのリンクをクリックします。
レコード リストのソート順序を逆にする	リストのヘッダーにある上向き矢印または下向き矢印をクリックします。

関連項目

[「Web ブラウザ セッション」 \(P.1-7\)](#)

TLS ピア サブジェクトの削除

手順

ステップ 1 TLS ピア サブジェクトを検索します。

ステップ 2 一致するレコードのリストから、削除する TLS ピア サブジェクトを選択します。

ステップ 3 TLS ピア サブジェクトを削除するには、次のいずれかの操作を実行します。

操作の目的	操作
選択したレコードを削除する	<ol style="list-style-type: none"> a. 該当するレコードをオンにします。 b. 次のいずれかの操作を実行します。 <ul style="list-style-type: none"> • ウィンドウの下部にある [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。 • ウィンドウの左上隅にあるツールバーに表示されている [選択項目の削除 (Delete Selected)] アイコンをクリックします。
すべてのレコードを削除する	<ol style="list-style-type: none"> a. [すべてを選択 (Select All)] をオンにします。 b. [選択項目の削除 (Delete Selected)] をクリックします。

トラブルシューティングのヒント

- TLS ピア サブジェクトが使用中でない場合は、Cisco Unified Presence により削除されます。使用中の場合は、メッセージが表示されます。
- TLS ピア サブジェクトに対する変更を有効にするには、SIP プロキシ サーバを再起動する必要があります。このプロキシ サーバを再起動するには、[プレゼンス (Presence)] > [ルーティング (Routing)] > [設定 (Settings)] の順に選択します。

関連項目

[「TLS ピア サブジェクトの検索」 \(P.9-2\)](#)

